



茎数・葉数多い！直ちに中干しを！ 遅れずに、生育量に応じた穂肥を！

◎ 生育概況

「雪若丸」の6月28日現在の県全域の生育は、平年に比べて草丈は平年並み、茎数は多く、葉数はやや多い、葉色はやや淡い状況です。

平坦部「雪若丸」の生育（6月28日）

項目	調査値	平年値	平年比・差
草丈	40.8 cm	40.3 cm	101 平年並み
茎数	713 本/m ²	665 本/m ²	107 多い
葉数	9.8 枚	9.4 枚	0.4 やや多い
葉色 (SPAD)	44.0	45.7	-1.7 やや淡い

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

◎ 技術対策

・中干しは作溝と合わせて効率的に！

落水がまだのほ場は、直ちに中干しを行い、無効分げつの抑制と根の活力向上を図ります。生育量が大きい場合や葉色が濃い場合は強めに中干しを行いますが、葉色が40未満に低下しないように注意しましょう。

・穂肥は生育に応じた量を、遅れずに！

穂肥は出穂25日前、窒素成分は1.5kg/10aを基本とします。穂肥の時期が遅れたり、施用量が多いと整粒歩合が低下し、玄米粗タンパク質含有率が高まります。穂肥は下表を参考にして、遅れずに適量施用しましょう。また、6月中に窒素肥料を補完施用した場合は減肥しましょう。

生育量	茎数(本/m ²)	葉色 (SPAD)	追肥対応※
適正	560～750	40～44	出穂25日前、窒素成分1.5kg/10a
生育不足	560未満	40未満	早めに追肥する
生育過剰	750以上	44以上	追肥量を減らす

※6月中に窒素肥料を補完施用した場合は減肥する

・斑点米カメムシ類の発生密度減らすために、畦畔の草刈りは7月中旬までに終わらしましょう。